取扱説明書 ——— 簡易取り付け型 ——— 保管用

白熱灯シーリング.リモコン
(天井付専用型)

yamada

ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

仕様

品番	適合電球
LE—3854	E17 PSクリプトン電球(ホワイト)110V 60w以下×6灯

この取扱説明書のマークについて。

⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークについている説明文は、必ず守ってください。
🚫 このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け　取扱い上の注意

すぐ取り付けられます

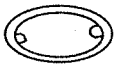
角形引掛けシーリング

丸形引掛けシーリングボディー

引掛け埋め込みローゼット

配線器具の取付工事が必要です

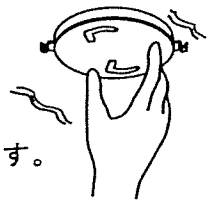
配線だけの場合
付属の引掛けシーリングボディーを取り付けてください

アウトレットボックスの場合

市販の引掛け埋め込みローゼットを取り付けてください。

⚠ 警告

破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。
配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

破損しているもの

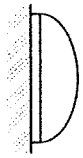
ガタつくもの


樹脂製ボックスカバーには取り付けないで下さい。
★器具の落下事故の原因となります。

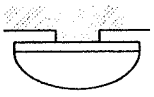
付属の引掛けシーリングボディーの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。★一般の方の工事は法律で禁止されています。

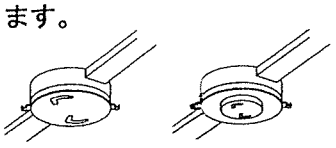
一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★漏電や感電事故の原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。　★器具の落下事故の原因となります。


壁面

傾斜した場所


不安定な場所


ケースウェイにセットされている配線器具

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠ 注意

ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

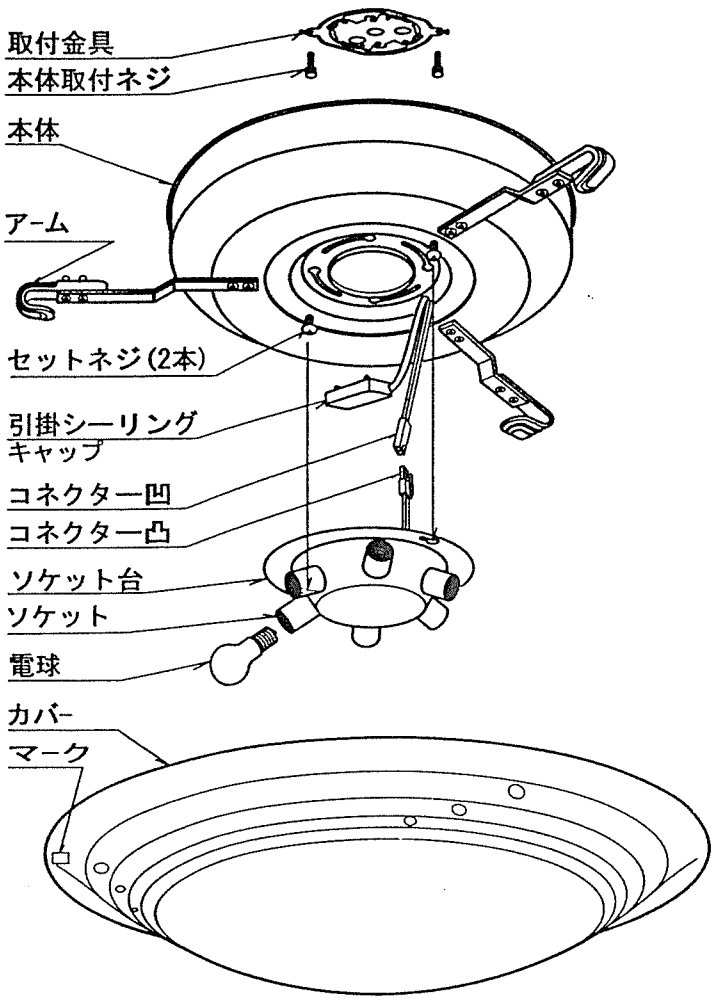
ヒビの入ったカバーや、一部の欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯(チラツキや立ち消えなど)や調光器、照明器具の故障の原因となります。

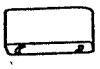
各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

器具構成図



付属品



引引掛シーリングボディー―1個

取り付けは、工事店または電気店にご依頼ください。

E17 PSクリプトン電球 ―6個
（ホワイト）110V 60W

取付金具 ―――――― 1個
（本体取付ネジ2本付）

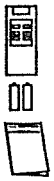
木ネジ ―――――― 2本
（引掛シーリングボディー用）

座付木ネジ ―――――― 2本
（取付金具用）

取扱説明書（本書） ―――― 1枚

保証とアフターサービス（別紙）
―――― 1枚

リモコンセット



リモコン送信器 ―――― 1個
単三乾電池 ―――― 2本
リモコン取扱説明書 ―― 1枚

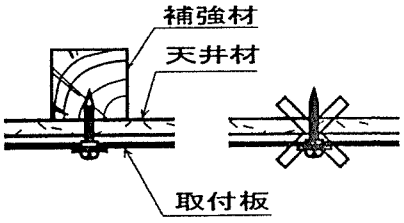
取り付け場所の確認

⚠ 警告

❗ 配線器具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。

★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



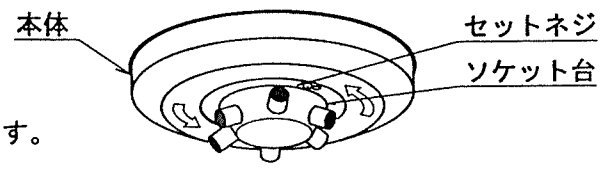
取り付ける前に

●器具を取り付ける前に

本体からソケット台を外しておきます。

・セットネジ2本をゆるめます。

・ソケット台を左に回転させ、ソケット台をはずします。

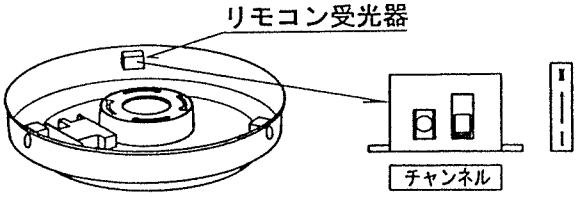


●リモコン受信チャンネル番号を設定します。

本体を取り付ける前に、本体内側にあるリモコン受信チャンネルを設定します。リモコンのチャンネルは工場出荷時には『1』になっています。

同じ部屋に当社の白熱灯リモコン器具を2台取り付ける場合。

器具	本体側チャンネル	送信器側チャンネル
1台目	1	1
2台目	2	2



（リモコンの詳しい操作方法については、別紙の『赤外線リモコン取扱説明書』をご覧ください。）

取り付け方　⚠ 注意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

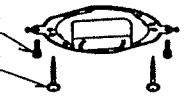
⚠ 警告　器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。

1、取り付け金具のセット

取り付けできる配線器具
- 角形引掛けシーリングボディー
- 丸形引掛けシーリングボディー

→ 付属の取り付け金具を使います。

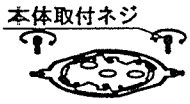
・付属の取り付け金具の中央の金具をはずします。



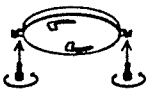
・取り付け金具を付属の座付き木ネジにて天井に取り付けます。

- 埋め込みローゼット

→ そのまま取り付けられます。



・付属の取り付け金具から本体取り付けネジをはずします。

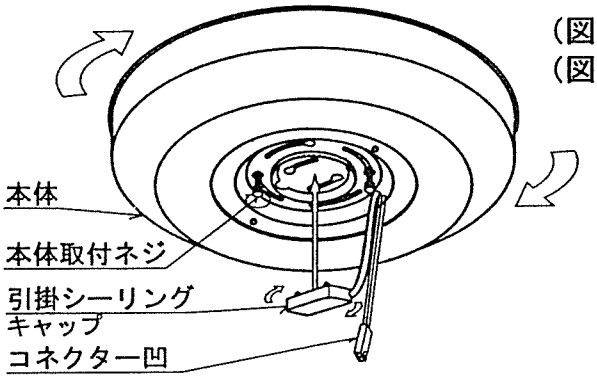


・埋込みローゼットの爪に本体取り付けネジを落ちない程度(3回転)ほどねじ込みます。

2、本体の取り付け　(図2)
- ローゼット用ネジの頭を本体のダルマ穴に通します。
- 本体を右に回し、ネジの頭が溝の中央付近に来たらネジをしっかり締め込み固定します。

⚠ 注意 ★締め込みが不十分な場合、器具落下による（けが）の原因となります。

(図2)
(図3)



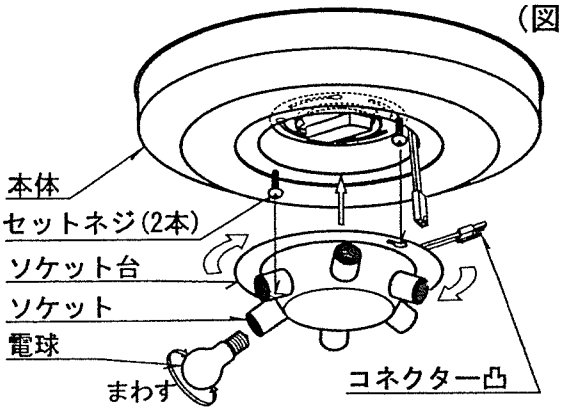
3、引掛けシーリングキャップの接続　(図3)
引掛けシーリングキャップを引掛け埋め込みローゼットまたは引掛けシーリングボディに差し込んで時計方向に止まるまで回転させます。

4、コネクターの接続　(図4)
本体側のコネクター凹とソケット台側のコネクター凸を接続します。

(図4)

(図5)
(図6)

5、ソケット台の取り付け（図5）
- ソケット台のダルマ穴に本体のセットネジを通します。
- ソケット台を時計方向に止まるまで回転させてから、セットネジをしっかり締め込み固定します。



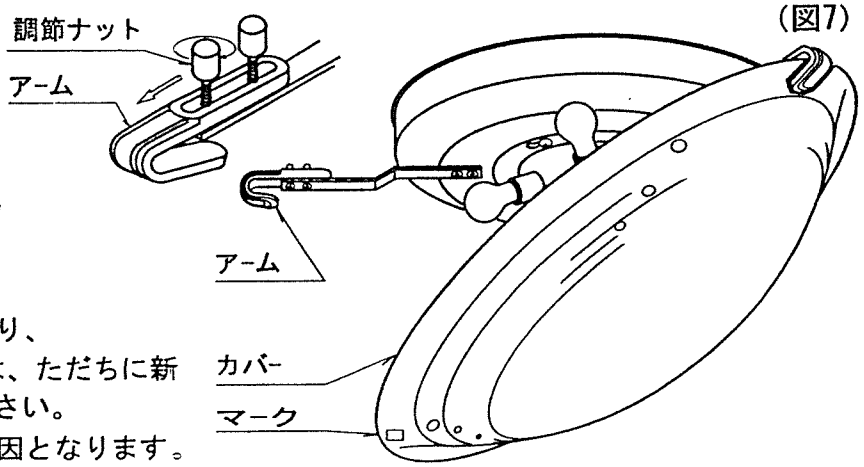
6、電球をセットします。（図6）
電球をソケットにねじ込みます。

⚠ 注意　電球は乱暴に扱わないでください。
★電球が割れて怪我をする恐れがあります。

(図7)

7、カバーを取り付けます　(図7)
- アームの調節ナットをゆるめて左側いっぱいまでスライドさせます。
- カバーを他の2本のアームにのせますゆるめておいたアームをカバーのマーク位置に合わせて差し込み、調節ナットで締め込み固定します。

⚠ 注意　カバーにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合には、ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの破損、落下の原因となります。



スイッチ操作

1、壁スイッチを『ON』にします。

2、リモコン送信器のチャンネル番号を受信器のチャンネル番号に合わせます。

3、リモコン送信器の点灯モードボタンを押して点灯させます。

＊（リモコン送信器の詳しい操作方法については別紙の『赤外線リモコン取扱説明書』をご覧ください。）

＊ご使用にあたって

●お出かけの際や長時間使わないときは、壁スイッチを『OFF』にしてください。

★リモコンで消灯し、壁スイッチが『ON』の状態の場合リモコン待機の電力(約1W)を消費します。

★リモコンで消灯し、壁スイッチが『ON』の状態で停電が起きると、停電が回復したときに、点灯状態になることがあります。

お手入れについて ⚠ 注意

必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

● 電球の交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
☆火災や感電事故の原因となります。

● スイッチを切った直後の電球は熱くなつています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。 ★火傷の原因となります。

● 濡れた手で触らないでください。 ★火災や感電事故の原因となります。

● 電球は乱暴に扱わないでください。 ★電球が割れて怪我をする恐れがあります。

● 適合電球以外の電球は使用しないでないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常過熱による火災の原因となります。

● シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
☆器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

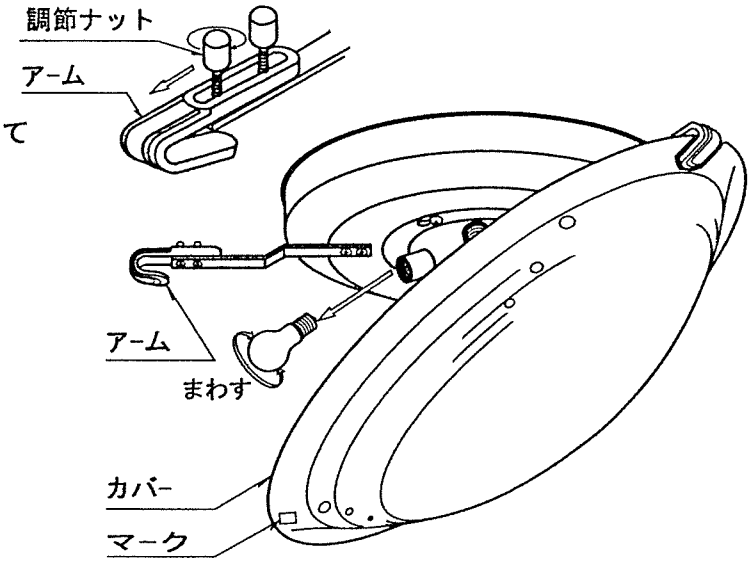
■電球の交換

1 スイッチを切ります。

⚠ 注意

⃠ 電球交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2 カバーを外します。
片手でカバーをささえ調節ナットをゆるめて
アームを左側いつぱいまでスライドさせて
カバーをアームから取り外します。



3 電球を交換します。

⚠ 注意

⃠ 電球は乱暴に扱わないでください。
★電球割れ等の事故の原因となります。

4 カバーを取り付けます。
（ 取り付け方の『7』をご参照ください。）

■お手入れのしかたについて

- スイッチを切ります。
- 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
- 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
- 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）
故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。